

科目名 (科目番号)	人体の構造 (063112)	教員名 澤田和彦	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		月3～5	D306研究室(澤田)	
授業概要	人体の正常構造の理解のため、人体を構成する各器官の微細構造、肉眼解剖的構造、身体における有機的なつながりを系統立てて解説する。細胞や組織など人体の構成単位について学習した後、植物性器官である呼吸器系、消化器系、泌尿器系、循環器系、免疫系、生殖器系、内分泌系について学び、理学療法士として必要な解剖学の基礎知識を身に付ける。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。 予習復習は、指定の教科書を参考に、事前に配布した授業資料を用いて行うこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	解剖学総論	【到達目標】解剖学の基礎的知識を習得する。 【学習内容】人体の階層性と器官の系統、体の区分、方向を表す用語、解剖学的平面。				
	2	組織学	【到達目標】組織学の基礎について説明できる。 【学習内容】器官を構成する組織の分類と各組織の基本構造。				
	3	末梢神経系	【到達目標】末梢神経の分類と構成について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】脊髄神経、脳神経の各末梢枝の走行・分布・機能の概略。				
	4	中枢神経系	【到達目標】中枢神経系の構成と各部の構造の詳細について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】脳(大脳、間脳、脳幹、小脳)および脊髄の構造と機能、髄膜の構成と構造。				
	5	感覚器系	【到達目標】感覚器系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】皮膚、眼球、耳(外耳、中耳、内耳)、鼻の構造の詳細。				
	6	局所解剖	【到達目標】胸腹部器官の局所解剖的位置関係と胸膜・腹膜との関係を説明できる。 【学習内容】椎骨の高さを基準とした主な胸腹部内臓の位置と動脈分枝位置。人体の漿膜(心膜、胸膜、腹膜など)の構造。				
	7	呼吸器系	【到達目標】呼吸器系の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】上気道(鼻腔、咽頭、喉頭)および下気道(気管、気管支)の構造の詳細。				
	8	消化器系	【到達目標】消化管の構成と構造、解剖学的な繋がりについて機能と関連付けて説明できる。 消化付属器官の構成と構造、消化管との解剖学的な繋がりについて機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】消化管(口腔、食道、胃、小腸、大腸など)および消化付属器官(唾液腺、肝臓、膵臓、胆嚢など)の構造の詳細。				
	9	内分泌系	【到達目標】内分泌系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】下垂体、甲状腺、膵臓、副腎、精巣、卵巣などの内分泌器官の構造の詳細と、これらの器官から分泌されるホルモン。				
	10	生殖器系	【到達目標】男性および女性の内・外生殖器の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】男性生殖器(精巣、精巣上体、精囊、陰茎など)と女性生殖器(卵巣、子宮、膣など)の構造の詳細および機能の概略、会陰の構造。				
	11	泌尿器系	【到達目標】泌尿器系各器官の構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】腎臓および排尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造の詳細。				
	12	循環器系①	【到達目標】心臓の構造の詳細、栄養血管について説明できる。 【学習内容】心臓の各部屋と弁の構造、冠状動静脈の分布と支配域、刺激伝導系を構成する構造。				
	13	循環器系②	【到達目標】末梢循環系の構成と分布について説明できる。 免疫系各器官の構成と構造、末梢循環系との関連について述べることができる。 【学習内容】肺循環、体循環、リンパ循環を構成する主な動静脈と主なリンパ管の走行と支配域。				
	14	免疫系	【到達目標】免疫系各器官の構成と構造、末梢循環系との関連について述べることができる。 【学習内容】主な免疫系器官(胸腺、脾臓など)および組織(リンパ節、集合リンパ小節、扁桃など)の構造。				
15	発生学	【到達目標】ヒトの初期発生について説明できる。 【学習内容】ヒトにおける胚子の発生と胚葉の分化。					
成績評価の方法・基準	中間試験(50%)＋期末試験(50%)						
教科書	コメディカル専門基礎科目シリーズ 解剖学			澤田和彦、坂田ひろみ 編		理工図書	
参考図書							
教員からのメッセージ	授業の進度、その他必要性に応じて内容を変更することがあります。 昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。						